

平成 28 年 1 月 8 日

各 位

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
代表者 代表取締役社長 伊藤 雅文
(コード番号 6255)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 廣澤 一夫
(TEL 03-6240-1206)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 10 月 7 日に公表した通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、第 2 四半期累計期間における業績予想の修正はありません。

記

平成 28 年 8 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,861	百万円 447	百万円 404	百万円 472	円 銭 21.44
今回修正予想(B)	5,701	284	228	305	13.87
増減額(B-A)	△5,160	△163	△176	△167	
増減率(%)	△47.5	△36.5	△43.6	△35.4	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 8 月期)	9,349	519	422	561	25.47

平成 28 年 8 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,829	百万円 384	百万円 341	百万円 431	円 銭 19.57
今回修正予想(B)	5,659	266	215	306	13.88
増減額(B-A)	△5,170	△118	△126	△125	
増減率(%)	△47.7	△30.7	△37.0	△29.0	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 8 月期)	9,245	428	352	513	23.27

修正の理由

連結業績予想の売上高につきましては、主として受託加工事業における販売単価の内訳の変更に伴い、前回発表予想 10,861 百万円より 5,160 百万円減少し、5,701 百万円となる見込みであります。その詳細な理由は以下のとおりです。

① 受託加工事業

当社が前回発表予想を公表した時点では、上期に新規取引先と太陽光パネルの受託加工契約を締結し、当第 3 四半期からの生産開始を見込んでおりました。そのような状況下、昨年 12 月に大手太陽電池メー

カーと受託加工契約の基本合意に至ることができ、更にもう 1 社との契約も順調に進んでおります。そのため、両案件とも当第 3 四半期から第 4 四半期にかけて本格的に生産を開始し、順次売上計上できる目途が立っております。

しかしながら、従来の受託加工契約においては顧客から太陽光パネルの部材を仕入れ、加工賃等を上乗せした金額を販売単価としており、前回発表予想はそのような契約形態を前程として作成しておりました。しかし、新規の契約では主に加工賃が販売単価となったため、売上高のみ減少することになります。ただし、パネル 1 枚あたりの利益額に変更はありません。

そのため、売上高は前回発表予想 5,511 百万円より 4,877 百万円減少して 634 百万円となる見込みであります。契約数量や加工賃についてはほぼ当初の予定どおりであり、長期的に業績貢献できるものと考えております。

② 装置関連事業

当社は前期に大型ライン案件を受注し、その全てを今期売上計上することを見込んでおりました。しかしながら、同ラインに関連する仕様向上の要望が発生したため、生産に時間を要することとなり、案件の一部は来期に売上計上となる見込みになりました。しかしながら、本仕様向上に伴う追加の受注を当第 2 四半期に獲得できる見込みとなっております。

そのため、売上高は前回発表予想 5,349 百万円より 282 百万円減少して 5,067 百万円となる見込みであります。その減少分は今期末の受注残高として来期に持ち越されますので、中期的に当社の業績に影響を及ぼすものではないと考えております。

連結業績予想の利益につきましては、受託加工事業における新規契約先向けの生産開始時期が当初より若干後ろ倒しになったことに加え、装置関連事業で上述のとおり売上高の一部が期ズレする見込みとなったため、減少することとなりました。

なお、個別業績も連結業績と同一の理由によるものであります。

(注) 上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上